



中山間地域とは

平地周辺から山までの傾斜が多い地域

<岐阜県の中山間地域>

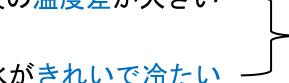
県面積の8割が中山間地域であり、田畑は半分が中山間地域にある 自然が豊かで、独自の伝統や文化がある



米づくりは、田んぼや地域を守る活動でもある

<米づくりの特徴>

・昼夜の温度差が大きい



「美味しい米」づくりに適する

用水がきれいで冷たい

全国規模の美味しい米コンクールで多数入賞!

主な作付品種

粘りが強く、美味しいとされるコシヒカリが多い

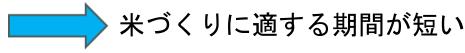


ひとめぼれ

あきたこまち

田植え〜稲刈りまでの期間が短い(早生) 冷害に強い(耐冷)

春先に遅くまで寒く、秋に早く寒くなる



[冷害とは?]

寒い日が続くことにより、

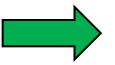
稲の育ちが遅れたり、稲穂が実らない現象



地形や気象

中山間地域ならではの米づくり

●階段状の田んぼ

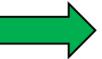


山村の美しい景観づくり

のり面(あぜ)管理を含めた米づくり

農業機械の出入りに注意

●山や森林が近い

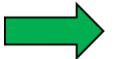


用水がきれい

鳥や獣への対策

自然の中での米づくり

●冷涼な気候



美味しい米ができる

冷涼を好む病害虫の発生

冷害に強い品種の作付け



あぜ草刈

草刈りにより雑草の根を残し、のり面を固める







【刈払機】

【自走式あぜ草刈機】

【ハンマーナイフモアー】

<草刈り時期の目安>

6月中~下旬	梅雨時期の雑草が生い茂る前
7月中~下旬	カメムシの居場所をなくす(稲穂が出る10日前まで)
9月中~下旬	雑草のタネを減らす、害虫の居場所をなくす
10月~11月	冬の枯草と越冬害虫を減らす

その他のあぜ草対策

草刈り以外の対策が拡大しつつある



【防草シート】

ネット状とシート状のものがある



【除草剤の使用】

・雑草の根は枯らさず、 茎葉だけ枯らす除草剤 を使用



【センチピートの植付】

・地表面を背の低い植物で覆う

何年もの間、あぜ草を抑える方法

作業が楽な方法

作業労力の軽減



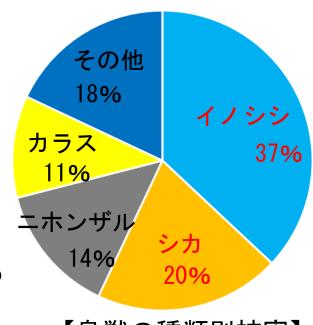
鳥獣被害の状況

県内での被害額は2億3千万円越え (令和5年度)

- ●イノシシとシカが被害の過半
- ●中山間地での被害が多い



イノシシによる 踏み荒らし



【鳥獣の種類別被害】

岐阜県農村振興課調べ



シカによる食い荒らし

イノシシの対策

田んぼに入られない様にする







【ワイヤーメッシュ柵】



【トタン柵】

電気柵の電線は、イノシシの鼻が触れるよう張る



電気柵の1段目は地面より20cmが目安 アースを設置・あぜ草から漏電させない

シカの対策

イノシシより飛び越える力が強い

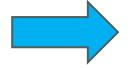


【電 気 柵】



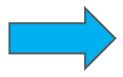
【ワイヤーメッシュ柵】

●イノシシよりも、柵を高くする



2mの高さ

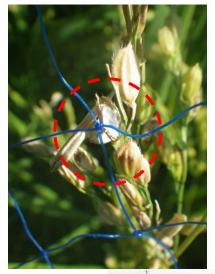
●田植直後~穂が出る前に稲を食べる



田植時期から対策必要

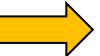
鳥の対策

米づくりではスズメに用心



<スズメの被害>

●籾中のデンプン乳を吸う -



収穫が減る

<スズメの対策>

- ・周りの田んぼと同じ時期に稲穂が出るよう、 品種や植付時期を決める
- ・スズメおどし



【防鳥テープ】



【鳥よけカイト】



いもち病

冷涼に長雨が重なると発生拡大

発病は収量減に直結

●いもち病は「カビ」の一種で、苗・葉・穂などに発病



【苗いもち】



【葉いもち】



【穂いもち】

写真提供:岐阜県病害虫防除所

<いもち病が出やすい条件>

●気温20~25℃ + 稲の水濡れ



梅雨•秋雨•霧

●稲の茎や葉が軟らかい



日照不足、肥料の効きすぎ



【肥料がよく効いた所に発生した穂いもち】

いもち病の対策

健康な稲株づくり+予防防除

【健康な稲株づくり】

- 土づくり(ケイ酸分の供給)
- ・肥料をやり過ぎない

稲を硬く育てる

【予防防除】

箱施薬 (いもち病と害虫に効果あり)

- JAからの購入苗は、種まき時に箱施薬ずみ
- 自分で苗を作った場合は、田植前に薬をふり かける



【箱施薬】

田んぼでの防除 (梅雨時期)

田んぼでの防除 (穂が出る頃)

地域での共同防除又は個人防除

イネミズゾウムシ 平地より中山間地域で発生が多い

- ●アメリカからの外来生物
- ●親(成虫は)稲の葉を食べ、子(幼虫は)稲の根を食べる
- ●田植直後から被害がでる

【予防防除】

箱施薬

(イネミズゾウムシといもち病に効果あり)

箱施薬ずみの苗を購入

又は

田植前の苗に薬をふりかける

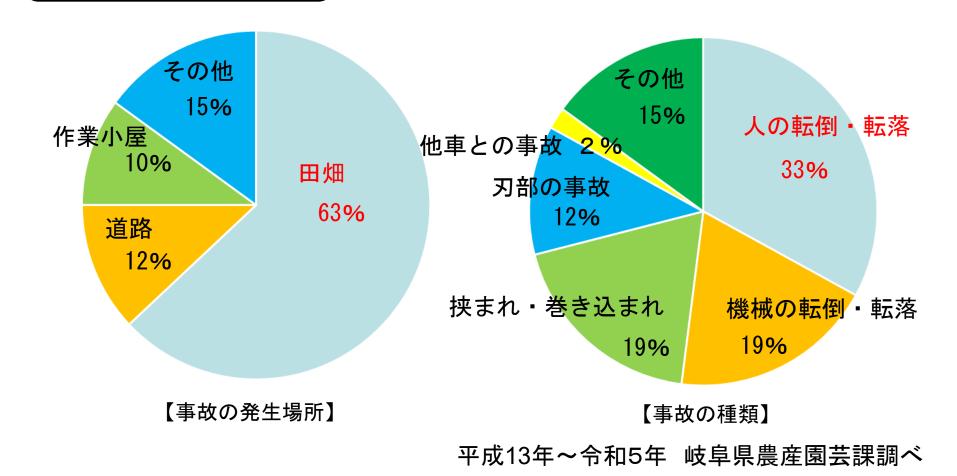


【イネミズゾウムシの成虫】



農作業事故の内容

春はトラクタ事故、秋はコンバイン事故が多い



●トラクタが転倒した時に作業者が下敷きとなるケースが特に多い

事前の準備

機械の使い方や特性を知っておく

- 1 説明書をよく読む
- 2 安全装備を使う







【シートベルトの着用】

【安全フレーム・反射材の装着】【飛散保護カバーの装備】

- 3 必要な免許を取る
- 4 作業の基本を身につける(研修会への出席)
- 5 危ない場所(田畑・農道)の事前確認

作業に当たって

人と機械、作業工程から安全を確保

- 1 心と体の健康チェック (焦りは禁物)
- 2 作業に適した服装と保護具(ヘルメット・保護メガネ)
- 3 機械の始業と終業の点検、定期点検
- 4 休憩時間を作る
- 5 安全な作業工程
 - 田畑への出入りは十分な長さと幅のある進入路を選ぶ
 - ・傾斜に対して直角に出入りする
 - 「急」のつく操作(急発進・急ハンドル・急ブレーキ)をしない

もしもに備えて

日々の安全作業と万が一に備えた対策

- 1 機械の点検や整備は必ずエンジンを切る
- 2 事故が起きた時の対応を整理しておく(連絡先・手順)
- 3 作業の相方を置き、直ちに連絡ができる様にしておく
- 4 労災保険に加入する



トラクタで農道を移動する時は ブレーキペダルを連結させる

ブレーキペダルを連結させないと左右のタイヤに別々にブレーキが効き、急 旋回となる

熱中症

温暖化により発症が増え、リスク期間が長期化

温度や湿度が高い所で、体温調節が上手くできず、体内の水分や塩分バランスが崩れる事で起きる、いろいろな症状

軽症:立くらみ・こむら返り



┣ 重症:痙攣・運動障害・意識障害

〔対 策〕

暑さを避ける



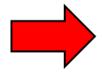
暑い時間は、日陰や風通しの良い所で作業

こまめな休憩



20分おきの休憩に合わせて水分・塩分補給

対策アイテム



帽子・空調服・ネッククーラー・ミストファン

万が一の時は、体を冷やしたのち病院へ

